広島県立総合技術研究所　ご利用アンケート調査について

総合技術研究所（以下、総研）をご利用くださり、ありがとうございます。

総研では、ご利用くださった事業者様のご意見やご要望を把握し、今後の支援サービスの向上に役立てるためにアンケート調査を行っております。ぜひご協力をお願いします。

総合技術研究所長　　坂手　宣夫

・集計結果を公表する場合は、事業者名が特定できないようにいたします。

・いただいたご要望やアンケート結果を受けまして、訪問による聞き取りをお願いする場合がございます。

　・一部のご利用者様においては、センターから既にご利用部分のアンケート等を行っており、内容が重複している場合がございます。重ねてのアンケート調査となりますが、ご了承ください。

１　アンケートの目的

　ご利用いただいた事業者様の満足度や経営への貢献額をもとに、総研の自己評価に役立ててまいります。

　ご要望やご意見をもとに、今後の支援サービスの内容充実や質的向上に役立ててまいります。

２　アンケートの回答方法

1. WEBによる回答（推奨）

次のアドレスにアクセスいただき、回答してください。

又は「総合技術研究所　ご利用アンケート調査」で検索。

　https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/questionnaire-main.html



（２）　WEBによる回答が困難な場合

　　　2ページ目以降をFAXしてください。

　　　ＦＡＸ番号　０５０－３１５６－３４７９

３　回答期限

　　　令和７年７月３１日（木）

アンケート回答はこちら

４　問合せ先

　　ご不明な点がございましたら、下記担当者までお問合せください。

　　広島県立総合技術研究所　企画部　企画担当　（担当者　武田）

　　　電話：０８２―２２３―１２００　メール：sgkkikaku@pref.hiroshima.lg.jp

R７年度広島県立総合技術研究所　ご利用アンケート調査（R６年度利用分）



令和６年度の総研ご利用分について回答してください。

県のHP上で、便利に回答することができます（右二次元コード先）。

又は「総合技術研究所　ご利用アンケート調査」で検索。

利用者が複数名おられる場合は、利用者ごとにご回答ください。

（FAXの場合、お手数ですが、コピーしてお使いください）

Q１　貴社名（貴名）を記入してください（必須）

例）○○株式会社○○事業所

|  |
| --- |
|  |

Q2　業種を選択してください。（必須、１つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

□農業　□林業　□漁業　□鉱業、採石業、砂利採取業　□建設業　□食料品製造業

□飲料・たばこ・飼料製造業　□繊維工業　□木材・木製品製造業（家具を除く）

□家具・装備品製造業　□パルプ・紙・紙加工品製造業　□印刷・同関連業　□化学工業

□石油製品・石炭製品製造業　□プラスチック製品製造業　□ゴム製品製造業

□なめし革・同製品・毛皮製造業　□窯業・土石製品製造業　□鉄鋼業　□非鉄金属製造業

□金属製品製造業　□はん用機械器具製造業　□生産用機械器具製造業　□業務用機械器具製造業

□電子部品・デバイス・電子回路製造業　□電気機械器具製造業　□情報通信機械器具製造業

□輸送用機械器具製造業　□その他の製造業　□電気・ガス・熱供給・水道業

□情報通信業　□運輸業、郵便業　□卸売業、小売業　□金融業、保険業

□不動産業、物品賃貸業□学術研究、専門・技術サービス業　□宿泊業、飲食サービス業

□生活関連サービス業、娯楽業　□教育、学習支援業　□医療、福祉　□複合サービス事業

□サービス業（他に分類されないもの）　□公務（他に分類されるものを除く）　□分類不能の産業

Q3　昨年度ご利用のセンターを選択してください。（必須、複数選択可）

　□保健環境センター □食品工業技術センター □西部工業技術センター（生産技術アカデミー含まず）

　□西部工業技術センター生産技術アカデミー　□東部工業技術センター　□農業技術センター

□畜産技術センター　□水産海洋技術センター　□林業技術センター　□総合技術研究所企画部

Q４　昨年度ご利用の支援メニューを選択してください。（必須、複数選択可）

　□設備利用（センターの保有機器・設備）　□依頼試験　□技術的課題解決支援事業（ギカジ）

□共同研究　□受託研究　□人材育成（研究員受入、研修）

Q５　ご利用のきっかけを選択してください。（複数選択可）

　□前回利用　□インターネット上での検索　□センターでの技術相談

□自治体・支援機関の紹介　□地域企業等からの口コミ・紹介　□公的機関での試験結果が必要だから

□その他

Q６　ご利用の理由を選択してください。（複数選択可）

　□必要な設備・機器があるため　□利用したい技術があるため　□研究員の知見が必要なため

□センターが近くにあるため　□信頼性が高いため　□その他

Q７　センターの支援メニューをご利用の結果、満足度はいかがですか。（必須、１つ選択）

□大いに満足　□満足　□普通（想定どおり）　□不満　□大いに不満

Q８　Q７で満足（不満足）とした理由を選択してください。（最大２つ選択）

□対応が丁寧（不十分）　□対応が早かった（遅かった）　□金額が安い（高い）

□目的の知見が得られた（得られなかった）　□目的以外の知見を得た（得られなかった）

□手続きが簡単（煩雑）　□結果が期待以上（期待未満）　□その他

Q９　支援メニューを申請してからレポートや測定が終わるまでに要した時間を選択してください。

（複数選択可）

□１～３時間　□１日　□２～３日

□１週間程度　□２～３週間　□数か月程度

□半年　□１年　□１年以上

Q１０　昨年度、総研を利用したことによる貴社（貴方）の経済効果についてお答えください。

コスト削減としての貢献額をお教えください。（１つ選択）

1. 装置使用や依頼試験により、自社で試験を実施する場合に比べて、設備投資費や人件費を○○万円削減することができた。
2. 民間の専門分析機関や研究機関へ対応相談や試験依頼をした場合と比べ、○○万円の経費削減につながった。
3. 技術的な知見を習得することができ、自社の人材育成に関する経費を○○万円圧縮できた。

□10万円未満　□10万円以上～50万円未満　□50万円以上～100万円未満

□100万円以上～300万円未満　□300万円以上～500万円未満　□500万円以上～1千万円未満

□1千万円以上～3千万円未満　□3千万円以上～5千万円未満　□5千万円以上～1億円未満

□1億円以上（Q１１にもご回答ください）

Q１１　Q１０で「１億円以上」を選択した場合、およその金額を記入してください。（単位　億円）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 億円 |

Q１２　利益や売上の増加について、貢献額をお教えください。（１つ選択）

1. 品質の維持・向上のための課題解決により、売上高が○○万円向上した。
2. 依頼試験や、委託研究により製品開発に貢献し、○○万円の売上高に貢献した。

□10万円未満　□10万円以上～50万円未満　□50万円以上～100万円未満

□100万円以上～300万円未満　□300万円以上～500万円未満　□500万円以上～1千万円未満

□1千万円以上～3千万円未満　□3千万円以上～5千万円未満　□5千万円以上～1億円未満

□1億円以上（Q１３にもご回答ください）

Q１３　Q１２で「１億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力：単位　億円）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 億円 |

Q１４　その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの貢献額をお教えください。（１つ選択）

1. 不具合などの原因究明に対応でき、将来的な損失を○○万円回避できた。
2. 製品の評価や品質管理の結果、試験結果を宣伝できたため、○○万円の貢献があった。
3. 研究開発・製品化・事業実施の判断に役立てることができ、研究開発費として○○万円の価値がある。

□10万円未満　□10万円以上～50万円未満　□50万円以上～100万円未満

□100万円以上～300万円未満　□300万円以上～500万円未満　□500万円以上～1千万円未満

□1千万円以上～3千万円未満　□3千万円以上～5千万円未満　□5千万円以上～1億円未満

□1億円以上（Q１５にもご回答ください）

Q１５　Q１４で「１億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力：単位　億円）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 億円 |

Q１６　総研の職員に対して、特に強化してほしい部分を選択してください。（最大２つ選択）

□対応の丁寧さ　□対応の早さ　□対応の融通さ

□幅広い知見（技術の広さ）　□技術力（技術の深さ）　□他機関紹介などのコーディネート力

□技術の改善提案力　□製品・事業全般の改善提案力　□その他

Q１７　今後のご利用に当たり、強化してほしい技術分野、支援メニュー等があれば記入してください。

（自由記入）

※〇〇の分析技術、〇〇分野におけるデジタル技術、〇〇設備の導入　など

Q１８～Q２４はデジタル技術への取り組みについてお答えください。

Q１８　貴社（貴名）の事業における、デジタル技術への取り組み状況について選択してください。（１つ選択）

□既に取り組んでいる　□必要性を感じており、今後取り組む予定

□必要性を感じているが、現状取り組む予定はない　□必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q１９　総研がデジタル技術の活用に資する研究開発・支援を行っていることをご存じですか。（１つ選択）

（参考：「広島総研DX取組事例発表会」、URL：https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/dx-r5-recital.html）

□知っている　□知らない

Q２0　貴社（貴方）の事業におけるデジタル技術活用に対して、総研による支援を活用したいと思いますか。（１つ選択）

□既に活用したことがある　□活用したことはないが、今後したいと思う　□活用する予定はない

Q２１　デジタル技術の活用に関して、課題、今後総研で取り組んでほしい分野、共同で取り組みたい課題、期待する支援内容等があれば記入してください。（自由記入）

※〇〇分野のデジタル技術の研究、〇〇のデジタル化、デジタル技術に関する研修　など

Q２２　貴社（貴名）の事業におけるAI（人工知能）の活用状況について選択してください。（１つ選択）

　※効率化、自動化、データ解析等

□既に活用している　□今後活用する予定　□現状活用する予定はない

Q２３　既にAI（人工知能）を活用している産業分野、用途について記入してください。（自由記入）

Q２４　今後AI（人工知能）を活用したい産業分野、用途について記入してください。（自由記入）

Q２５　センターへ、その他ご意見があれば記入してください。（自由記入）

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

Q２６　回答者のご所属、お名前を記入してください。（必須）

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。集計結果は夏ごろホームページにて公開する予定です。

総研では引き続き事業者の皆様の支援を行っております。お気軽に各センター又は企画部までお問い合わせください。

近秋、総研のデジタル技術の活用に資する研究開発・支援の例をまとめた発表会を開催予定です。詳細は今後ホームページに掲載予定です。是非ご覧いただき、ご活用ください。